



台風19号の被災現場を視察（新江川 東松山市内）

想を変えながら「日本一暮らしやすい埼玉県」を目指し、果敢に挑戦してまいります。

そのカギとなるのが技術革新、グローバル化、そしてシニア・女性の活躍ではないでしょうか。

人口減少社会の中でも成長していくためには、SDG city 5.0へ向けた対

応が不可欠です。

「埼玉版スーパー・シティ」構想により、AI・IoT、5G等を活用し、エネルギーの効率的な活用を中心に据え、職住近接による子育て環境の向上、高齢者の見守りなど、地域の様々な課題の解決を目指してまいります。これにより災害時のエネルギー確保なども期待されます。

グローバル化の進展により、本県の在留外国人数の増加も見込まれます。グローバル人材の育成を進めるとともに、異なる文化や価値観を認め合いそれぞれの能力を發揮できる多文化共生社会の実現に努めてまいります。

ラグビワールドカップ成功の理由の一つに「多様性」の受け入れがあります。



知事記者会見（県庁庁議室）

様々な背景を持つ選手たちが一つのチームとなり力を尽くす姿や、互いの文化を尊重し国歌を歌い合う姿は、正に多様性を持つ大きな力を気付かせてくれました。

さて、渋沢翁は「四十、五十は漢垂（はなた）れ小僧六十、七十は働き盛り、九十になって迎えが来たら百まで待てと追い返せ」と説きました。生涯を通じて生き生きと活躍できる人生を送るためにも健康は最も重要です。スポーツを通じて健康増進により、健康寿命を延ばし、生涯現役社会の実現を図ってまいります。また、昨年映画化された



山下JOC会長がオリ・パラへの協力を求めて来庁（県庁知事室）

本県出身の女性医師のパイオニア、荻野吟子の例を取り上げるまでもなく、女性活躍をさらに広げる必要があります。女性の活躍は、多様性や新たな価値を生み出す大きなチャンスとなります。働きたいと考える女性に寄り添い、再就職やキャリアアップに向けた支援に力を入れて取り組みます。

「日本一暮らしやすい埼玉県」は「埼玉版SDGsの実現」でもあります。誰一人取り残さない持続可能な埼玉を目指し、県民の皆様と「ワンチーム埼玉」でチャレンジしてまいります。

● 大野もとひろ事務所 ●

〒332-0017 埼玉県川口市栄町2-1-11 ブランズ川口栄町パークフロント103

TEL: 048-271-5252

ホームページ <https://www.onomotohiro.jp>

FAX: 048-271-5200

E-mail: saitama@onomotohiro.jp